

2009年11月

巷ではインフルエンザが猛威をふるっているようですが皆様お変わりありませんでしょうか。

日本は先週などは急に冷え込み、12月初旬並みの気温の日もあったようですね。

季節の変わり目、体調に気をつけて、元気で冬を迎えたいものですね。

さて、今年の初めぐらいには目新しかったのですが、今ではすっかり耳になじんでしまった『婚活』という言葉がありますが先日、知人を介して、婚活メールというものを頂きました。

最初はよくあるジャンクメールなのかなと思いきや、開けてみると中国にお住まいの日本人男性の方の、真面目に結婚相手を募集されてるという内容のメールでした。

ご自身のプロフィール、仕事、趣味、生活されてる雰囲気がとてもよくわかる写真などで構成されたそのメールは誠実にパートナーを探しているらしい気持ちがあらわれていてとても好感がもてるものでありました。

写真や文面から見る限り、とても感じの良い方のように、こんな素敵な方にパートナーがあらわれないなんて、結婚とは本当にその当人だけでなく、出会いや、運の流れというものもあるものなのだろうなあと、思ったりしました。

また別の機会にはある情報誌で、会員が7000人もいる香港の結婚相談所があるという記事を読み、驚きました。

と言うのも、香港の街を歩いていると、日本よりもカップルがとても目につくような気がしてたからです。

それを友人に話したところ、それは、カップルの仲良し度というかくっつき度が高いからではないかと指摘をうけました。

・・・確かに。

香港では若いカップルも、中年のカップルも、老年のカップルも仲良く手をつないでるカップルがほとんどで、量より質ではありませんが、数より仲良し度といった感じで、印象が強くなるので

独り身の方が少ないような印象を受けていたのかもしれませんが。

そこで少し調べてみたところ、やはり、香港にも晩婚の波は押し寄せているようで、
女性の初婚年齢の平均は 1981 年には 24 歳だったのが
2008 年には 28.4 歳、男性は同年比で 27 歳だったのが 31.1 歳と、
共に晩婚化が進んでいるようです。

そして次に驚いたのが男女の人口比の変化だったのですが、
1981 年には女子 1000 人に対して男性が 1087 人と、男性が上回っていたのが、
その後じわじわと比率が逆転しだし、2008 年には女性 1000 人に対して、
男性 896 人と完全に入れ替わってしまいました。

これは香港人男性を夫に持つ中国本土の女性が大挙したことも、
主な原因のひとつだとのこと。
言い方を変えれば、香港で女性が不足したわけでもないのに、香港人女性ではなく
中国本土の女性をパートナーとして選ぶ香港男性が増えてきたということになるのでしょう。

それまで香港人のカップルを見ていると、香港女性の強さというか
香港男性の優しさというか、本当にまるでお姫様のように自分の
彼女を扱うのにいつもびっくりしてたのですが、
その 『 彼女=お姫様神話 』 も崩れかけてるのかしらんと思ったり。

そして、それに対抗したわけではないでしょうが、昨年あたりから、
香港人女性も中国本土の男性をパートナーにすべく、
中国本土でのお見合いパーティーへの参加者が急増しているそうです。

香港経済の不景気と、中国本土の景気発展という背景で、
経済的な格差が縮まり、生活水準や文化レベルでも差がなくなってきたこと、
また、中国本土のいわゆる帰国子女といわれる独身男性には
国際的で自立心の高い香港女性を求める声も多いそうで、中国本土で
開かれる婚活お見合いパーティーの 2 割以上を香港人女性が
占めるようになってきたそうです。

お国変わればとありますが、良き伴侶を求める気持ちは
どこの国でも変わらないものなんですね。

かくいう私にも何人か婚活中の友人がおり、彼女達の晴れの日を
思いながら、日本に行った際には、つつい縁結びのお守りなどを
お土産に買ってくる今日この頃です。

日本で、香港で婚活中のみなさんに、良いご縁が舞い込んでくることを
祈りつつ。

咲乃月音